

理科 6年間カリキュラム

分野		物理分野	化学分野	生物分野	地学分野
中Ⅰ	科目		理科A（2単位）	理科B（2単位）	（理科B）
	単元		- 物質の姿 ・水溶液 - 物質の分離・化合 ・単体化合物 - 状態変化 ・化学と物質 - エネルギーと物質 - 自然環境の保全と科学技術の利用 - 科学が開く世界	- 進化と系統 ・多様性と生態系 - 生態系と保全 ・生物の特徴	- 地球の歴史 ・地表の変化 - 地層からわかる地球の過去
中Ⅱ	科目	理科A（2単位）		理科B（2単位）	（理科B）
	単元			- 遺伝子とそのはたらき - 動植物の発生 - 刺激の受容と反応 - 受容体のしくみ	- 地球の内部構造 - プレートテクトニクスと地形 - 地震のしくみ ・火山のしくみ - マグマからできた火成岩
中Ⅲ	科目	理科A（2単位）	理科B（2単位）		（理科A／理科B）
	単元	- 運動の規則性 ・エネルギー ◇物理基礎の内容も適宜取り入れる。	- 物質の成り立ち ・化学変化 - 化学変化と物質の質量 - 物質の構成粒子 - 物質と化学結合		理科Aで扱う内容 - さまざまな天体と宇宙の大きさ - 天体の動き ・太陽と月 ・太陽系 - 銀河系と宇宙 ・大地の変動による災害 理科Bで扱う内容 - 天気とその変化 ・日本の天気 - 地球における熱の出入り・大気の大循環 - 人間生活と大気への影響
高Ⅰ	科目		化学基礎（2単位）	生物基礎（2単位）	
	単元		- 化学反応 ・物質量と化学反応式 - 酸と塩基 ・酸化還元反応	- 中学の復習 - 恒常性 ・生物の環境応答 - 神経系 ・行動	
高Ⅱ	科目	物理基礎（2単位）	【必選】化学（2単位）		
	単元	- 運動とエネルギー ・熱 - 波 ・電気 ・物理学と社会 ◇物理の発展的な内容も適宜取り入れる。	- 物質の状態と変化 ・気体の性質 - 固体の構造 ・溶液 - 化学反応と熱・光エネルギー - 有機化合物の特徴と分類 - 脂肪族炭化水素		
高Ⅲ	科目	【自選】物理（4単位）／物理演習(2単位)	【自選】化学演習（4単位）	【自選】生物（4単位）／生物演習(2単位)	
	単元	- 力と運動 ・熱と気体 ・波 - 電気と磁気 ・原子 ◇大学受験に向けて問題演習 ◇共通テスト対策	- 酸素を含む脂肪族炭化水素 - 芳香族化合物 - 有機化合物と人間生活 - 反応の速さとしくみ - 化学平衡 ・無機物質 - 高分子化合物 ◇大学受験に向けて問題演習 ◇共通テスト対策	- 進化と系統 ・生命現象と物質 - 遺伝子のはたらき ・生殖と発生 - 生物の環境応答 ・生態と環境	
	科目	【自選】物理基礎演習（1単位）	【自選】化学基礎演習（1単位）	【自選】生物基礎演習（2単位）	
	単元	・年間を通して共通テスト対策を行う。	・年間を通して共通テスト対策を行う。	・年間を通して共通テスト対策を行う。	

6年間指導における指導上の工夫

物理分野

- ・実験・観察を積極的に行う。その際、目的意識をもてるように仮説を立てる時間やグループで議論し、科学的思考力を養う時間を設定する。
- ・高校3年の10月までに全範囲を終え、入試に向けて演習活動の時間を確保している。

化学分野

- ・前期課程，後期課程で関連があり，横断的に学習できる分野を，同じ時期に学習できるように，カリキュラムを配置する。
- ・目に見えないものに対して思考できるような，理論力を前期課程の段階で身につける。
- ・上記のカリキュラム配置により，学びなおしをなくし，高校3年生では入試に向けての演習活動の時間を確保している。

生物分野

- ・中学過程で先取りした部分を踏まえて学習活動を行い，高校1年基礎分野から高校3年生物分野にわたって，幅広く学習を進める。
- ・観察，実験以外にも生徒一人ひとりが，主体的な学習活動を行い，科学的な概念や原理・法則を他者に対して説明できるような力を身につけさせる。
- ・化学基礎などと連携した学習を行い，科目にとらわれない科学的な思考力を身につけさせていく。
- ・高校3年生では，前期課程で教科書の内容を修了し，後期課程で，より発展的な学習，入試に向けた演習を取り入れていく。

地学分野

- ・高校の内容にも一部踏み込み発展的な学習を行う。
- ・身近な地学に興味をもちフィールドワークしたくなるような授業を展開する。